

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

就労支援事業

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通して就労支援を図るため。

効果 勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

【 事業の内容 】

- ・労働環境調査を行い、市内事業所の労働実態を把握するとともに労働問題への啓発を図った。
- ・求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- ・勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・若者等に向けて、鎌倉で働く魅力を伝える事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,339	4,339	4,034		305
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
9節	会計年度任用職員費用弁償	80	7	
11節	消耗品費	60	60	
	印刷製本費	120	100	
13節	就労困難若年者支援業務委託料	495	495	
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料	396	396	
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料	159	122	
	労働相談業務委託料	330	330	
	若者等支援事業委託料	200	195	
14節	合同就職説明会会場使用料	200	148	
	就労支援システム使用料	1,300	1,300	
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金	115	115	
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)	330	330	
	生涯現役促進地域連携鎌倉協議会負担金	554	436	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			165

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福利厚生事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境の向上及び福祉増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約事業者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う団体等に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,302	31,814	31,603		211
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金			289	890
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金			530	530
県駐労福祉センター運営費補助金			33	33
労働祭補助金			300	0
鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150	150
21節 中央労働金庫預託金			30,000	30,000

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の実現を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,500	19,500	19,369		131

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

19,500

19,369

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
898	898	569		329
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 6人		30	18
8節	技能者表彰記念品等報償費		100	25
11節	消耗品費		30	30
13節	技能祭機材設置等委託料		468	0
14節	技能祭技能者表彰等機材賃借料		0	226
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

市民防災部商工課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	28,340	25,540
・ 2節 給料 一般職	13,406	11,867
一般職職員 3人		
・ 3節 職員手当等	9,813	9,394
扶養手当	136	0
地域手当	2,011	1,780
通勤手当	327	390
超過勤務手当	975	1,387
休日給	31	0
期末勤勉手当	6,035	5,501
住居手当	118	336
児童手当	180	0
・ 4節 共済費	5,121	4,279
市町村職員共済組合負担金		

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民防災部商工課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		7,354	6,132
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	5,409	4,973
	会計年度事務補助職員 2人		
	就労支援アドバイザー 2人		
・ 3節 職員手当等		1,081	971
	期末手当		
・ 4節 共済費		300	0
	市町村職員共済組合負担金	128	0
	社会保険料	172	0
・ 9節 旅費		564	188
	費用弁償		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。
- ・ 農地管理システムから農業委員会サポートシステムへ台帳情報の紐付け作業を実施し、市町村や農地バンク等の関係機関との情報共有を促進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,857	11,857	11,727		130
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 農業委員会委員報酬 13人		9,062	9,188	
8節 収穫まつり入賞記念品		5	5	
9節 農業委員費用弁償		108	15	
事務局職員普通旅費		65	20	
11節 消耗品費		301	295	
農機具等修繕料		100	0	
12節 電信料		138	138	
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料		121	121	
農業委員会サポートシステム台帳データ更新委託料		385	385	
14節 農地管理システム使用料		1,460	1,460	
19節 遊休農地解消対策協議会等負担金		112	100	
<主な特定財源>				
・国県支出金				5,212

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

都市整備部農水課

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	75,425	68,494
・ 2節 給料 一般職	31,731	29,659
一般職職員 9人		
・ 3節 職員手当等	31,044	27,906
扶養手当	963	1,061
地域手当	5,181	4,904
通勤手当	923	887
超過勤務手当	4,546	3,679
休日給	133	5
管理職手当	1,973	1,973
期末勤勉手当	14,376	13,575
住居手当	2,463	1,151
管理職員特別勤務手当	26	26
児童手当	460	645
・ 4節 共済費	12,650	10,929
市町村職員共済組合負担金		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

都市整備部農水課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		1,526	1,122
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	911	932
	会計年度事務補助職員 1人		
・ 3節 職員手当等		183	190
	期末手当		
・ 4節 共済費		300	0
	市町村職員共済組合負担金	128	0
	社会保険料	172	0
・ 9節 旅費		132	0
	費用弁償		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
 ◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業	【	農水課	】
-----------------	---	-----	---

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者等による協議を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定作業を進めた。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業等に係る補助金の交付や、鎌倉ブランド堆肥事業を支援し、農業の振興を図った。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、価格高騰した肥料等に対する補助を行った。
- ・ 鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,404	26,370	17,151		9,219
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬	156	0	
8節	鎌倉市農業振興協議会委員等報償費	231	142	
11節	消耗品費	172	162	
12節	筆耕翻訳料	0	2	
13節	地産地消推進パンフレット作成委託料	98	98	
	ブランド堆肥化事業業務委託料	3,200	1,251	
	地域計画策定推進緊急対策事業業務委託料	3,100	2,640	
14節	優良農業者等表彰会場設営機材等賃借料	251	110	
19節	農業関係団体負担金	196	168	
	農業振興事業費補助金	3,000	7,454	
	新規就農者育成総合対策補助金	6,000	1,500	
	トップ経営体育成事業費補助金	10,000	3,624	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,450

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,167	1,167	1,166		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		504	504
13節	市民農園草刈等業務委託料		388	387
	第15期市民農園區画整備業務委託料		275	275

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農道整備事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。

効果 生産性の向上、農業経営の安定化

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉農業振興地域整備計画に基づき整備を行った農道について、維持管理に必要な管理図面の作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,200	2,200	1,230		970
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 管理図面作成業務委託料			1,700	1,118
19節 農道整備補助金			500	112

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合等への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、価格高騰した燃料に対する補助を行った。
- ・ 漁業者・学識経験者等から組織する鎌倉市水産業振興計画推進委員会は、調査審議する事項が無かったため、開催を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,418	12,012	10,077		1,935
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬			68	0
11節 消耗品費			89	78
19節 神奈川県水難救済会等負担金			293	293
漁業施設等災害支援金			500	0
鎌倉漁業協同組合事業費補助金			1,298	2,486
腰越漁業協同組合事業費補助金			870	7,075
水産多面的機能発揮対策事業補助金			300	145
<主な特定財源>				
・国県支出金				7,338

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越漁港内の安全管理のため、落石防護柵の設置工事を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地を行った。
- ・ 関係機関(県)と調整が整わなかったため、腰越漁港の区域の変更に向けた図面の作成は行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,657	14,490	12,984		1,506
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		636	630
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,893	2,541
	土砂等撤去委託料		460	0
	漁港区域内廃棄物処理業務委託料		116	0
	漁港区域変更図書作成等業務委託料		3,014	0
15節	腰越漁港落石防護柵設置工事請負費		10,538	9,506
23節	漁港区域内水面等一部占用料過誤納金還付		0	307

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁業支援施設整備事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの支援策を実施するため。

効果 支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁業支援施設整備について検討を行った。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、水産庁等関係者との協議を行うとともに、倉庫の設計を行った。
- ・ 土質調査及び漁港施設の設計については、入札不調により工事全体の着手に遅れが生じ、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
186,824	186,824	4,154	162,008	20,662

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
13節 土質調査・深淺測量業務委託料(翌年度への繰越明許費)	95,953	0
建築物設計業務委託料	24,816	4,154
土木施設設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)	66,055	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費
 ◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商工業振興計画(働くまち推進計画)の進行管理を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
724	724	638		86
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 商工業振興計画推進委員会委員報酬 8人			102	82
11節 消耗品費			93	43
13節 姉妹都市物産展設営等委託料			407	402
姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料			62	53
姉妹都市物産展チラシ作成業務委託料			49	49
14節 姉妹都市物産展会場使用料			11	9

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(消費生活担当)

市民防災部商工課(商工担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	59,451	54,630
・ 2節 給料 一般職	27,715	25,494
一般職職員 6人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	22,197	20,543
扶養手当	904	710
地域手当	4,422	4,079
通勤手当	585	507
超過勤務手当	1,344	997
休日給	0	14
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	11,571	11,343
住居手当	1,401	1,217
管理職員特別勤務手当	13	0
児童手当	970	690
・ 4節 共済費	9,539	8,593
市町村職員共済組合負担金	8,962	8,245
社会保険料	554	325
雇用保険料	23	23

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
共生共創部地域共生課
市民防災部商工課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		17,335	14,441
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	13,056	11,387
	会計年度事務補助職員 2人		
	統括消費生活相談員 2人		
	消費生活相談員 4人		
・ 3節 職員手当等		2,683	2,289
	期末手当		
・ 4節 共済費		300	0
	市町村職員共済組合負担金	128	0
	社会保険料	172	0
・ 9節 旅費		1,296	765
	費用弁償		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費
 ◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者等の健全な発展及び振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
312,500	312,500	310,152		2,348

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 信用保証料補助金	8,100	7,249
経営安定資金融資利子補給金	4,400	2,903
21節 中小企業融資預託金	300,000	300,000

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 商工会議所運営費補助金			6,935	6,935
商工業振興事業等補助金			553	553
中小企業経営支援事業補助金			7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街団体

意図 商店街団体が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 専門家の助言を必要とする商店街団体に対してアドバイザーを派遣する事業は、商店街団体から申請がなかった。
- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の全額を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,251	21,825	14,229		7,596
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	商店街アドバイザー派遣謝礼	200	0	
19節	商店街連合会補助金	1,710	1,710	
	商店街街路灯等維持管理費補助金	12,000	8,873	
	商店街活性化事業費補助金	5,968	3,344	
	商店街共同施設設置費補助金	2,373	302	

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

商工課

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源等を活用して創業する者に対し、事業化に要する経費の一部を助成するとともに、円滑に事業を実施できるようアドバイザーを派遣した。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・若年層等の起業準備者に対し、起業実現に向けたプログラムを実施した。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業は申請がなかった。
- ・中小企業者が実施する産業財産権取得事業、展示会等出展事業に加え、デジタル化推進事業及び広報・マーケティング事業を新設し、経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・製造業、情報通信業、自然科学研究所及び宿泊業等が市内に立地する際に要する経費等の一部を助成した。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する情報発信等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,858	21,858	10,997		10,861
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 3人		47	32
8節	商工業元気アップ事業認定事業者アドバイザー派遣謝礼		132	33
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		858	858
	起業家スタートアップ支援プログラム推進業務委託料		4,000	4,000
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		91	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	2,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		330	85
	環境共生施設整備費補助金		3,000	0
	中小企業経営基盤強化事業費補助金		2,400	2,448
	企業立地整備費等補助金		15,000	1,500

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費
 ◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業	【	商工課	】
-----------------	---	-----	---

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋が
 り、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。
- ・ 公衆浴場の原油価格の急騰に伴う光熱費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
645	3,105	2,345		760
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 公衆浴場設備整備費補助金				645 145
公衆浴場における原油価格高騰対応補助金				0 2,200
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,053

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

効果 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展の準備、観光客向け動画作成、小中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 鎌倉彫リーフレットの刷新を行うとともに、鎌倉彫PR動画の作成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,548	5,974	5,094		880
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	鎌倉彫振興事業所光熱水費	1,044	382	
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料	300	726	
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料	24	24	
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料	117	116	
	鎌倉彫リーフレット作業等業務委託料	472	472	
19節	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50	50	
	伝統鎌倉彫振興事業補助金	3,541	3,324	

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

消費者自立支援事業

【 地域共生課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 消費者対策
施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。
- ・事業者等との連携、協力(くらし見守りネットワーク)により、市民の日常生活の変化から消費者被害等を発見し、早期の支援につないだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
739	739	546		193
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活委員会委員等報酬 3人		102	32
	消費生活紛争調停委員会委員報酬		32	0
8節	消費生活講座講師謝礼		30	0
9節	消費生活相談員費用弁償		99	48
11節	消耗品費		90	89
12節	電信料		42	42
13節	消費生活相談員助言委託料		297	297
14節	消費生活講座会場使用料		7	6
19節	消費生活相談員研修負担金		40	32

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

エシカル消費推進事業

【 地域共生課 】

※重点事業(事業CD:6-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 消費者対策
施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。

効果 エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

【 事業の内容 】

- ・エシカル消費等に関する講演会やリーフレット等の作成を行い、広く情報を発信した。
- ・フェアトレードの推進に関する事業を実施する者に対し、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,670	1,670	876		794
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 鎌倉市エシカル消費推進アドバイザー等謝礼			200	140
11節 消耗品費			10	10
13節 リーフレット等作成委託料			680	597
グラフィックレコーディング委託料			150	100
14節 会場使用料			30	0
19節 フェアトレード推進事業費補助金			600	29
<主な特定財源>				
・国県支出金				438

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○観光振興の推進

観光運営事業

【

観光課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、広域観光の情報発信や情報交換等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,499	1,499	1,328		171

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 8人	250	80
11節 消耗品費	209	208
19節 三浦半島観光連絡協議会負担金	500	500
神奈川県観光振興対策協議会等負担金	540	540

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	69,279	59,578
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 7人	27,553	25,220
・ 3節 職員手当等	31,066	25,045
扶養手当	1,070	1,039
地域手当	4,439	4,104
通勤手当	718	947
超過勤務手当	8,251	3,582
休日給	196	182
管理職手当	1,102	1,102
期末勤勉手当	12,546	11,864
住居手当	1,974	1,285
管理職員特別勤務手当	15	65
児童手当	755	875
・ 4節 共済費	10,660	9,313
市町村職員共済組合負担金		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		8,536	7,614
・ 1節 報酬	会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 5人	6,181	5,696
・ 3節 職員手当等	期末手当	1,237	1,162
・ 4節 共済費		350	330
	市町村職員共済組合負担金	128	100
	社会保険料	172	181
	雇用保険料	50	49
・ 9節 旅費	費用弁償	768	426

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興事業

【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光マップ等の充実を図るとともに、鎌倉市混雑可視化マップシステムを運用・保守し、観光客への適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,758	9,758	8,817		941
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節	印刷製本費		1,700	1,342
12節	運搬料		3	0
13節	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		1,320	1,119
	外国語版パンフレット作成業務委託料		1,791	1,502
	課外授業ガイド作成業務委託料		660	660
	鎌倉市混雑可視化マップシステム運用・保守業務委託料		3,784	3,784
19節	車いす観光バリアフリーマップ作成事業等負担金		500	410
＜主な特定財源＞				
	・国県支出金			1,892

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興支援事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイク等に負担金を交付し、本市の観光振興の充実に図った。
- ・ イベントの開催により短期集中的に発生する混雑への対策などに取り組んだ。
- ・ 鎌倉花火大会が開催されなかったことから、これに係る負担金は執行しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,502	18,502	2,215		16,287
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	俳句&ハイク事業等負担金		884	883
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金		1,045	1,045
	主要観光行事安全対策負担金		16,573	287

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光協会支援事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,068	46,068	43,726		2,342

<支出内訳>

19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金

当初予算額	支出済額
46,068	43,726

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光案内所運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,582	23,582	23,494		88
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節 電信料			120	96
13節 観光案内所業務委託料			21,112	21,112
14節 観光案内所ブース賃借料			2,178	2,178
観光案内所デジタルサイネージ使用料			64	63
19節 観光案内所電気使用料負担金			108	45

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光施設整備事業

【 公的不動産活用課・観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。
- ・滑川有料公衆トイレ解体工事については、仕様及び工程変更により年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・鎌倉海岸下水道排水設備等設置工事については、工程変更等のため執行しなかったことから、翌年度以降継続して工事をする事となった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
265,680	96,304	38,428	47,498	10,378
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	91	66	
	光熱水費	1,635	960	
	公衆トイレ等維持修繕料	6,547	5,666	
	内訳			
	材木座海岸第二公衆トイレハンガードア修繕料		638	
	鎌倉駅東口公衆トイレ換気設備等修繕料		4,093	
	材木座海岸水道メーターボックス修繕料		935	
12節	電信料	845	844	
	備品倉庫消防設備点検手数料	14	13	
13節	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料	1,137	607	
	観光案内板等作成委託料	2,384	270	
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料	871	871	
	公衆トイレし尿処理委託料	1,695	1,491	
	海岸公衆トイレ汚水槽等維持業務委託料	999	499	
	海岸公衆トイレグレーチング維持修繕業務委託料	738	275	
	海岸公衆トイレ汚水槽汚泥処分業務委託料	264	288	
	公衆トイレ改築工事設計業務委託料	451	319	
	公衆トイレサニタリーボックス設置業務委託料	2,500	500	
	調達価格に関する特別調査委託料(海岸下水道排水設備)	850	151	
	滑川レストハウス アスベスト調査業務委託料	0	275	
	滑川レストハウス浄化槽撤去に係る山留計画業務委託料	0	330	

14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,122	1,122
	屋外ライブカメラ等賃借料	239	239
15節	材木座公衆トイレ解体工事請負費	22,847	23,001
	滑川有料公衆トイレ解体工事請負費(翌年度への繰越明許費)	29,348	0
	鎌倉海岸下水道排水設備等設置工事請負費	186,285	0
19節	ハイキングコースパトロール事業等負担金	275	267
	公衆トイレ電気・水道使用料負担金	543	374
	海岸下水道接続負担金	3,500	0
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金	500	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

海水浴場運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。
- ・ なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・ 安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
122,148	124,011	115,033		8,978
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			266	243
燃料費			17	0
印刷製本費			101	99
光熱水費			72	10
12節 電信料			137	96
13節 海水浴場監視業務等委託料			38,549	38,549
砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料			9,130	9,086
コースロープ設置及び撤去業務委託料			1,809	1,809
仮設木橋設置等委託料			1,628	1,617
海水浴場水道管敷設等委託料			811	811
仮設木橋材料保管・運搬業務委託料			880	880
看板作成委託料			2,500	1,914
海水浴場開き式会場設営等委託料			180	180
海水浴場関連廃棄物処理委託料			125	106
海水浴場警備業務委託料			14,307	12,727
海水浴場水質調査業務委託料			73	0
ごみ箱設置業務委託料			836	836
ごみ収集庫運搬・保管業務委託料			561	561
海岸整地業務委託料			1,155	0
バリアフリービーチ対応業務委託料			493	493
電気設備等設置業務委託料			5,672	5,672
ごみ資源化回収業務委託料			6,905	5,671
ごみ収集・運搬業務委託料			13,728	13,728
由比ガ浜海水浴場水難事故要因調査業務委託料			0	1,859
14節 監視所・仮設トイレ等賃借料			21,709	17,763

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

がけ地対策事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事業費の約2割を負担した。
- ・ 防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成する事業には、申請が無かったため、予算執行は無かった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,889	159,889	144,582		15,307
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			70	70
19節 急傾斜地防災工事負担金			84,540	70,248
神奈川県治水砂防協会等負担金			229	215
既成宅地等防災工事費補助金			65,000	74,049
既成宅地等防災工事費利子補給金			50	0
<主な特定財源>				
・地方債				67,100

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,604	1,604	1,073		531

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等) 570 569

放射性物質測定装置修繕料 649 119

13節 放射性物質測定装置点検委託料 385 385

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・市道等市有地と民有地との土地境界について、現地調査及び土地所有者との立会・協議・承諾を得た上で確定し、土地境界確定図を作成した。
- ・建築基準法の規定によりセットバックした市道沿い民有地について、狭あい道路拡幅整備申出書等に基づき、道路用地として取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74,692	60,565	60,335		230
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	横浜地方法務局資料閲覧等手数料		10	0
13節	境界確定等測量・調査業務委託料(狭あい事業分)		12,544	6,351
	表示登記事務等業務委託料		2,112	3,095
	境界確定等測量・調査業務委託料(境界確定分)		52,100	46,183
17節	狭あい道路拡幅事業用地取得費		7,900	4,706
	道水路用地購入費		26	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,949

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・市道の形状変更等に伴う道路台帳及び認定路線網図の補正・更新作業を行った。
- ・亡失又は経年により現況と公共座標値との点間距離に差異が生じた既設の境界点又は基準点の復元を行った。
- ・土地境界確定図管理システムの賃借・運用により市道等に係る土地境界確定図等を管理した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査（街区境界調査）により市道等と民有地との土地境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,517	51,777	48,559		3,218
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		1,640	1,153
13節	境界杭復元等業務委託料		34,638	28,350
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,550	11,550
	地籍調査事業測量等業務委託料		2,468	1,866
	基準点測量業務委託料		1,683	1,170
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,888	3,831
	土地境界確定図管理システム賃借料(地籍システム追加分)		625	614
19節	神奈川県国土調査推進協議会負担金		25	25
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,401

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。
- ・道水路許認可等を管理するための道路等占用管理システムを運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
178,570	178,570	157,654		20,916
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		500	426	
燃料費		1	0	
光熱水費		17,358	7,500	
道路管理施設維持修繕料(内訳は以下のとおり)		44,227	41,291	
大船駅東口001号機エレベーター機能維持修繕業務			638	
大船駅東口001号機エレベーター改修業務			36,737	
大船駅東口及び西口エスカレーター機能維持修繕業務 (制御盤内冷却ファン・減速機ギヤオイル・踏段取替)			891	
大船駅東口0A1号機エスカレーター機能維持修繕業務 (ニュアルローラー取替)			880	
大船駅東口及び西口エレベーター機能維持修繕業務 (かご内照明LED化、床タイル取替)			1,012	
大船駅東口0A1号機・0A2号機エスカレーター光電装置 等修繕業務			1,133	
12節 電信料		710	665	
路上放置自動車リサイクル料		15	0	
裁判控訴に係る手続手数料(収入印紙)		0	66	
道路賠償補償保険料		853	853	
13節 鎌倉駅道路管理施設清掃等業務委託料		1,420	1,137	
鎌倉駅通り抜け地下道排水ポンプディーゼルエンジン保守点検 業務委託料		151	151	
鎌倉駅通り抜け地下道制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務 委託料		150	150	
大船駅道路管理施設清掃業務委託料		3,628	2,978	
大船駅管理施設警備監視業務委託料		19,351	16,381	
大船駅監視設備保守管理業務委託料		660	658	
大船駅エレベーター等保守管理業務委託料		9,449	9,329	

	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料	13,104	12,100
	道路維持業務委託料	14,000	12,967
	路上放置自動車処理業務委託料	10	0
	道路損傷等通報システム関連業務委託料	264	264
	道路案内標識点検業務委託料	4,867	4,213
14節	大船駅西口交通広場用地賃借料	1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料	40,639	40,639
	道路占用等管理システム賃借料	2,581	2,580
	軽自動車賃借料	449	449
19節	大船駅西口エスカレーター本体及び制御装置電気料等負担金	641	600
22節	道路事故賠償金	2,000	715

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,648	74,775	41,421		33,354
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		33,462	15,174
	街路照明灯維持修繕料		14,550	3,041
13節	街路照明灯新設業務委託料		388	256
	街路照明灯柱点検業務委託料		17,539	13,428
14節	LED街路照明灯賃借料(平成27年度契約分)		4,569	4,569
	LED街路照明灯賃借料(令和4年度契約分)		8,140	4,953

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)

都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課・みどり公園課(かけ地対策担当)

都市整備部のうち都市整備総務課(都市整備総務担当)・道水路管理課・道水路調査課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	666,856	693,201
・ 2節 給料 一般職	306,016	314,774
一般職職員 85人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	249,020	265,890
扶養手当	8,398	9,580
地域手当	48,927	50,493
通勤手当	7,980	8,301
超過勤務手当	18,818	23,709
休日給	273	204
管理職手当	11,748	11,863
特殊勤務手当	48	0
期末勤勉手当	136,001	142,892
住居手当	11,885	13,498
管理職員特別勤務手当	157	0
児童手当	4,785	5,350
・ 4節 共済費	111,820	112,537
市町村職員共済組合負担金	111,039	112,343
社会保険料	697	121
雇用保険料	84	73

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課

都市景観部のうち都市調整課・建築指導課・みどり公園課

都市整備部のうち道水路管理課・道水路調査課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		52,776	50,678
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	36,720	37,797
	会計年度事務補助職員 20人		
	会計年度公共施設調査設計業務等補助員 3人		
	開発等許認可指導員 1人		
	危険ブロック塀指導等補助職員 2人		
・ 3節 職員手当等		7,342	7,600
	期末手当		
・ 4節 共済費		4,502	3,648
	市町村職員共済組合負担金	1,787	1,176
	社会保険料	2,414	2,173
	雇用保険料	301	299
・ 9節 旅費		4,212	1,633
	費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,018	16,214	15,786		428
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			1,555	1,554
印刷製本費			2,288	0
13節 外壁調査業務委託料(今泉さわやかセンター)			598	497
外壁調査業務委託料(深沢こどもセンター)			778	770
石綿含有保温材等調査業務委託料			20,638	8,184
空気環境測定業務委託料(鎌倉消防深沢出張所)			0	118
空気環境測定業務委託料(大船行政センター)			0	140
空気環境測定業務委託料(鎌倉消防署他4施設)			0	363
14節 建築積算システム機器賃借料			2,496	2,495
営繕積算システム等賃借料			1,665	1,665

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 道路施設の維持管理に必要なシステムの運用等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,414	1,414	1,403		11
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 一般文具等消耗品費			82	76
13節 道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料			811	807
14節 道路施設維持管理共同システム使用料			521	520

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
179,243	157,120	140,403		16,717
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			2,515	2,284
作業用車両燃料費			2,072	970
光熱水費			198	77
道路管理施設等維持修繕料			17,000	14,795
消耗品等維持修繕料			180	109
備品修繕料			500	59
作業用車両修繕料			3,726	3,104
医薬材料費			39	39
12節 電信料			678	487
消防設備保守点検等手数料			22	21
13節 上町屋資材置場警備委託料			102	100
残土処分委託料			4,839	2,097
カーブミラー設置業務委託料			2,575	2,001
高圧洗浄による排水管路等浚渫清掃業務委託料			14,059	13,002
道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料			6,332	4,451
道路・河川清掃等業務委託料			87,000	63,801
14節 維持補修用重機賃借料			5,094	3,516
16節 補修用原材料費			32,000	29,181
19節 法定講習負担金			8	8
22節 補填金			1	0
賠償金			1	0
27節 自動車重量税			302	301

*補修用原材料費内訳	アスファルト合材	563.2 t	13,046 千円
	カーブミラー部材	83 面	4,731 千円
	側溝蓋等	699 枚	3,664 千円
	車止め・分離標等	42 本	1,080 千円
	転落防止柵等	1 式	1,007 千円
	スチール透水蓋	28 枚	934 千円
	生コンクリート他	1 式	4,719 千円
*補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工		310 m ²
	アスファルト舗装打換工		64 m ²
	パッチング		1,192 m ²
	カーブミラー新設・補修工		326 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助したが、防災ベッド等の設置を行った場合の費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に通学路を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の木造建築物を耐震改修及び除却した場合の費用の補助は、申請がなく実施できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,863	23,715	21,183		2,532
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	0
11節	消耗品費		106	69
	印刷製本費		25	0
13節	耐震相談業務委託料		355	271
19節	現地耐震診断補助金		1,675	871
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		10,600	5,600
	危険ブロック塀等対策事業補助金		18,581	14,372
	マンション耐震診断補助金		1,500	0
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		2,519	0
	避難路沿道木造建築物耐震化補助金		3,000	0
	防災ベッド等設置事業費補助金		400	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			12,784

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
 ◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	223		245
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償			2	0
11節 消耗品費			461	218
19節 神奈川県九市開発許可研究協議会負担金			5	5

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
 ◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件はなかった。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・大規模盛土造成地の変動予測調査で作成した第二次スクリーニング計画において抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニング調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,037	17,037	14,162		2,875
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			163	117
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費			155	0
13節 大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査委託料			16,719	14,045
<主な特定財源>				
・国県支出金				4,681

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費
 ◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,672	9,672	8,012		1,660
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 建築審査会委員報酬 4人			378	84
建築審査会専門委員報酬 3人			128	32
9節 建築審査会委員等費用弁償			32	0
11節 消耗品費			422	343
印刷製本費			62	0
12節 鎌倉市建築審査会等会議録作成業務筆耕翻訳料			220	35
特定行政庁団体賠償責任保険保険料			50	50
13節 特殊建築物等定期報告業務委託料			6,544	5,919
長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料			264	0
14節 建築行政共用データベースシステム利用料			1,133	1,133
公会堂等使用料			4	0
19節 神奈川建築コンクール負担金			105	105
神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金			156	156
日本建築行政会議等負担金			174	155

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件 名	件 数
建 築 確 認	34
計 画 通 知	4
建 築 許 可	91
道 路 位 置 指 定	0
長期優良住宅認定	185
低炭素建築物認定	10

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費
 ◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・土木総合情報管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,654	33,654	30,644		3,010
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			806	796
印刷製本費			16	0
備品修繕料			50	50
12節 電信料			146	131
筆耕翻訳料			253	0
13節 土木総合情報管理システム保守委託料			8,518	8,432
工事資材単価調査業務委託料			373	79
14節 土木総合情報管理システム機器賃借料			18,933	16,842
市町村積算システム利用料			3,960	3,960
電子複写機賃借料			599	354

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課(交通安全担当)

都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	115,294	110,673
・ 2節 給料 一般職	49,447	45,895
一般職職員 13人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	48,015	48,243
扶養手当	1,912	2,390
地域手当	7,833	7,391
通勤手当	1,246	914
超過勤務手当	10,130	11,896
休日給	103	262
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	21,401	20,729
住居手当	2,940	1,885
管理職員特別勤務手当	13	0
児童手当	1,450	1,790
・ 4節 共済費	17,832	16,535
市町村職員共済組合負担金	17,383	16,415
社会保険料	429	97
雇用保険料	20	23

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
まちづくり計画部都市計画課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	8,315	8,277
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	6,184	6,282
会計年度事務補助職員 1人		
交通安全教育主任指導員 1人		
交通安全教育指導員 2人		
・ 3節 職員手当等	1,234	1,181
期末手当		
・ 4節 共済費	309	290
市町村職員共済組合負担金	128	101
社会保険料	172	181
雇用保険料	9	8
・ 9節 旅費	588	524
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通安全対策事業

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,112	21,521	14,645		6,876
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	自転車教室指導員謝礼		512	356
9節	交通安全教育指導員費用弁償		9	0
11節	消耗品費		326	85
12節	交通安全教室損害保険料		15	10
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	3,681
14節	軽貨物自動車賃借料		225	224
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		11,200	9,969
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

放置自転車防止事業

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・老朽化が進んだ大船駅東口自転車等駐車場の今後の在り方を検討し、概略設計を実施した。
- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70,052	62,847	59,060		3,787
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			22	0
光熱水費			451	234
大船駅西口交通広場自転車等駐輪場泡消火設備修繕料			409	759
12節 電信料			42	38
13節 放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料			459	371
放置自転車等防止対策業務委託料			49,931	42,291
大船駅東口自転車等駐輪場修繕等検討業務委託料			16,126	12,857
14節 稲村ヶ崎駅自転車等駐輪場土地使用料			256	255
鎌倉駅西口第1自転車等駐輪場土地使用料			2,253	2,253
16節 駐輪場修繕用原材料費			103	0
22節 賠償金			0	2

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,711	6,711	6,654		57

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 ガードレール塗装等維持修繕料 延長108.4m

470 440

カラー舗装等維持修繕料 面積93.85㎡

1,741 1,722

13節 道路ライン等設置業務委託料

4,500 4,492

区画線延長5,342.8m 文字記号延長1,142.98m

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,655	72,655	51,181		21,474
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
15節 交通安全対策施設工事請負費			72,655	51,181
内訳				
笛田二丁目13番先(市道043-000号線)歩道段差等改善・根上り対策 段差6箇所 根上り3箇所			14,751	7,040
由比ガ浜四丁目7番先外(市道009-000号線外)歩道段差等改善 段差11箇所			11,077	9,240
西鎌倉二丁目2番先(市道023-000号線)根上り対策 7箇所			9,559	8,242
常盤862番地先(市道027-000号線)歩道整備 延長27.8m			9,185	7,959
手広二丁目2番先(市道055-000号線)歩道整備 延長70m			28,083	18,700
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,469
・地方債				44,700

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・北鎌倉隧道安全対策等検討業務委託について、年度内に実施できなかったことから翌年度へ繰越しを行った。
- ・小町一丁目9番先における舗装工事は年度内に完了できないため翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの事故繰越しにより、津西二丁目14番先における法面災害防除工事を実施した。
- ・前年度からの繰越明許費により、小袋谷歩道橋における横断歩道橋修繕工事を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
606,948	840,470	670,652	37,751	132,067
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	道路維持修繕料	10,200	7,776	
13節	道路維持管理業務委託料	12,200	12,496	
	大船駅西口ペDESTリアンデッキ・小袋谷歩道橋(線路外)点検調査業務委託料	8,918	5,301	
	トンネル点検調査業務委託料	18,937	14,243	
	斜面崩落対策詳細設計業務委託料	24,486	12,907	
	道路予備設計業務委託料	13,750	6,723	
	北鎌倉隧道安全対策等検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)	29,590	0	
14節	工事用仮駐車場賃借料	540	1,080	
15節	道路維持修繕工事請負費	310,419	338,241	
	内訳			
	手広二丁目8番先(市道041-000号線)舗装切削、舗装打換	22,693	15,304	
	舗装工 延長395.4m 面積1,294.0㎡			
	稲村ガ崎四丁目6番先(市道013-026号線)舗装打換	16,720	15,147	
	舗装工 延長190.4m 面積483.2㎡			
	大船二丁目6番先(市道059-045号線)舗装打換	52,525	31,446	
	舗装工 延長184.1m 面積1,169.0㎡			
	小町一丁目9番先(市道001-064号線)舗装工	15,543	5,441	
	舗装工 延長56.8m 面積177.7㎡			
	(翌年度への事故繰越し)			

	大船駅東口ペDESTリアンデッキ(市道209-081号線)塗装塗替	143,795	114,946
	浄明寺一丁目8番先(市道035-013号線)吹付工 斜面对策工 面積319.5㎡	44,143	47,818
	舗装打換・排水整備等要望箇所 舗装工 延長131.7m 面積494.0㎡	15,000	11,343
	法面災害防除工事(前年度からの事故繰越し)	0	96,796
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	21,000	15,747
	横断歩道橋維持修繕工事負担金(小袋谷歩道橋)	141,908	111,726
	横断歩道橋維持修繕工事負担金(小袋谷歩道橋) (前年度からの繰越明許費)	0	134,708
	横断歩道橋点検業務負担金(小袋谷歩道橋線路内)	15,000	9,704

<主な特定財源>

・国県支出金	73,963
・地方債	417,900

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事等を行った。
- ・坂ノ下33番先における舗装打換工事、二階堂6番地先における舗装工事について、入札不調などにより工事を実施できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、寺分三丁目先の舗装工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,960	182,135	45,862	123,640	12,633
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 舗装構成(FWD)調査業務委託料			9,922	2,588
埋蔵文化財試掘調査業務委託料(荏柄天神参道)			3,000	2,849
15節 大規模住宅地等道路改良整備工事請負費			137,038	40,425
内訳				
坂ノ下33番先(市道010-063号線)舗装打換 (翌年度への繰越明許費)			28,347	0
関谷1581番地先(市道066-000号線)舗装打換 舗装工 延長107.5m 面積742.4㎡			13,398	10,811
二階堂6番地先(市道204-044号線外)舗装工 (翌年度への繰越明許費)			95,293	0
寺分三丁目9番先(市道047-044号線外)舗装工 舗装工 延長296.2m 面積1,594.9㎡ (前年度からの繰越明許費)				29,614
<主な特定財源>				
・国県支出金				5,640
・地方債				31,100

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・劣化が著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。
- ・前年度からの事故繰越しにより、極楽寺橋及び音無橋の橋りょう補修工を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、岩瀬下土腐橋外4橋の橋りょう補修工を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
109,833	216,873	177,173		39,700
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 橋りょう維持修繕料			2,000	1,211
13節 橋りょう点検調査業務委託料			25,168	18,584
橋りょう補修修繕設計業務委託料(泉橋)			12,485	9,346
橋りょう補修修繕設計業務委託料(高野陸橋)			29,546	10,595
15節 橋りょう維持修繕等工事請負費			40,634	137,437
内訳				
材木座三丁目7番先外(古川橋外4橋)橋りょう補修工			40,634	26,287
稲村ガ崎一丁目15番先(極楽寺橋)橋りょう補修工			0	32,824
(前年度からの事故繰越し)				
稲村ガ崎一丁目15番先(極楽寺橋)橋りょう補修工			0	8,365
稲村ガ崎三丁目4番先(音無橋)橋りょう補修工			0	55,032
(前年度からの事故繰越し)				
岩瀬1131番地先外(岩瀬下土腐1号橋外4橋)橋りょう補修工			0	14,929
(前年度からの繰越明許費)				
<主な特定財源>				
・国県支出金				52,883
・地方債				101,900

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,469	1,469	1,469		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費		240	240
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料		1,229	1,229

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

都市整備部下水道河川課(河川担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	34,510	23,319
・ 2節 給料 一般職	16,735	10,874
一般職職員 4人		
・ 3節 職員手当等	12,165	8,532
扶養手当	528	472
地域手当	2,570	1,702
通勤手当	532	409
超過勤務手当	1,033	251
休日給	27	0
期末勤勉手当	6,961	5,255
住居手当	334	443
児童手当	180	0
・ 4節 共済費	5,610	3,913
市町村職員共済組合負担金	4,839	3,913
社会保険料	771	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,835	1,562
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	1,159	1,247
・ 3節 職員手当等 期末手当	232	254
・ 4節 共済費	300	0
市町村職員共済組合負担金	128	0
社会保険料	172	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	61

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川維持補修事業

【

下水道河川課

】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 河川の良い維持管理をするために、普通河川滝ノ川の維持修繕工事を行った。
- ・ 準用河川等の浚渫を行った。
- ・ 準用河川等の除草、枝払い等を行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加し、その活動により治水及び利水事業の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,381	66,381	57,042		9,339
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設等維持修繕料		5,200	4,835
13節	準用河川等浚渫業務委託料		27,954	22,360
	準用河川除草・枝払い等業務委託料		3,600	3,185
15節	河川維持修繕工事請負費(普通河川滝ノ川)		29,500	26,535
19節	神奈川県河川協会負担金		127	127
<主な特定財源>				
	・ 地方債			23,800

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・雨水調整池の浚渫を行った。
- ・雨水調整池の除草、枝払いを行った。
- ・河川の水位等の状況をカメラにて監視した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,618	38,618	35,263		3,355
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			108	96
印刷製本費			19	0
雨水調整池管理施設維持修繕料			1,500	1,480
備品修繕料			76	76
13節 雨水調整池浚渫業務委託料			17,045	13,931
雨水調整池除草・枝払い等業務委託料			1,800	1,619
下水道管路施設等包括的民間委託料			12,742	12,733
14節 河川等監視カメラ・データ使用料			5,160	5,160
軽貨物自動車賃借料			168	168

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。
- ・ 緑地の維持管理に係る相談を所有者等から受け、現地確認の上助言を行った。
- ・ (仮称)植木特別緑地保全地区の都市計画決定に必要な図書作成を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,148	8,148	7,205		943
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 8人		306	82
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
	緑地維持管理相談専門委員報酬 1人		102	102
9節	緑化推進専門委員等交通費		23	6
11節	消耗品費		101	96
	印刷製本費		63	59
13節	特別緑地保全地区都市計画図書作成業務委託料		6,963	6,270
19節	森林協会等負担金		182	182

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,615	7,615	5,815		1,800
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	ポスターコンクール参加記念品	114	38	
11節	消耗品費	31	30	
13節	緑化啓発に関する業務委託料	5,082	5,082	
19節	緑化まつり負担金	160	154	
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(件数:9件 総延長:87.5m)	988	511	
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分)(件数:0件)	1,240	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 民有緑地を将来にわたり良好に保全するため、当該緑地の所有者等に対し維持管理に要した費用の一部を助成した。
- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,916	125,844	120,433		5,411
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	市民緑地愛護会報償費	45	45	
13節	緑政業務支援GIS保守業務委託料	253	253	
	市民の身近な森づくり事業委託料	3,000	2,274	
	つながる募金サービス利用料	27	0	
19節	保存樹木奨励補助金(250件 288本)	592	518	
	保存樹林奨励補助金(148件 2,245,037.69㎡)	12,475	11,856	
	保存生け垣奨励補助金(88件 8,055.67㎡)	803	663	
	緑地保全契約奨励補助金(100件 475,098.78㎡)	7,782	7,064	
	民有緑地維持管理助成事業補助金(85件 277,080㎡)	45,667	56,054	
25節	緑地保全基金利子積立金	71	86	
	森林環境譲与税利子積立金	1	2	
	緑地保全基金寄附等積立金	13,200	41,618	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,182	18,982	18,492		490
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金			10,382	10,382
25節 風致保存基金寄附等積立金			6,400	4,055
26節 風致保存会寄附金			6,400	4,055

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・令和5年度は、八幡宮地区、山ノ内・今泉地区の2地区で事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,961	26,961	21,569		5,392

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 樹林維持管理委託料

26,961 21,569

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。
- ・ 倒木した樹木に対して緊急で倒木処理等を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、落石防止網設置等の防災工事を実施したが、完成後に
がけ崩れが発生し、工事目的物が全損したため、受注者に対して負担金を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
108,770	163,673	154,401		9,272
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			85	79
光熱水費			80	56
管理施設維持修繕料			3,040	2,618
12節 電信料			48	43
緑地に関する賠償補償保険等保険料			1,112	786
13節 緑地維持管理委託料			88,265	126,883
山ノ内宮下小路緑地維持管理業務委託料			3,652	498
常盤山管理棟警備委託料			102	91
斜面地対策調査設計業務委託料			0	7,964
15節 緑地維持管理工事請負費			12,386	8,434
22節 工事目的物の全損に係る負担金(前年度からの繰越明許費)			0	6,784
緑地管理に起因する損害賠償金			0	165

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理計画推進事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理を図るため。

効果 市有緑地のライフサイクルコストの縮減と安全性の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 落石防護柵やフェンス等、緑地に設置された施設の更新、修繕を年次計画に基づき行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,559	7,559	6,881		678
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 管理施設維持修繕料			5,059	4,918
13節 緑地維持管理委託料			2,500	1,963

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観の形成

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 良好な都市景観の形成

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 屋外広告物について、鎌倉市屋外広告物条例に基づく適正な規制・誘導を行った。
- ・ 景観上重要な建築物等の保存活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,723	37,623	37,087		536
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	景観審議会委員報酬 10人	408	318	
8節	景観アドバイザー等相談謝礼	170	85	
9節	会計年度任用職員費用弁償	6	1	
11節	消耗品費	100	96	
	印刷製本費	1,000	644	
	旧村上邸各所小破修繕料	1,000	935	
12節	筆耕翻訳料	110	19	
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料	8	6	
13節	旧村上邸植栽等管理(害虫駆除含む)委託料	1,000	976	
	景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料	970	352	
	若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン運用支援業務委託料	716	715	
14節	学習センター使用料	11	0	
19節	景観重要建築物等助成金	3,000	1,948	
25節	旧村上邸貸家料積立金	1,914	1,914	
	景観重要建造物等保全基金利子積立金	10	68	
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金	16,300	29,010	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 都市景観
施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
303	303	302		1
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	100	100	
	印刷製本費	66	66	
	風致地区内標柱修繕料	117	116	
19節	古都保存連絡協議会負担金	20	20	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			170

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

- ・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	388		80
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			30	29
既存車止め等維持修繕料			168	0
13節 海・浜ルール看板撤去作業等業務委託料			0	89
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金			270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者との意見交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68	68	0		68
<支出内訳>		当初予算額 支出済額		
8節 技術アドバイザー謝礼		68 0		

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
571	571	118		453
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー等謝礼		24	24
9節	会計年度任用職員費用弁償		2	0
11節	消耗品費		243	92
	大船駅周辺管理地維持修繕料		300	0
12節	火災保険料		2	2

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

【

市街地整備課

】

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,534	11,188	11,188		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

12,534 11,188

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインの運用に当たり、地区全体の再開発等促進区及びエリアマネジメント手法と組織の検討、(仮称)深沢地区まちづくり条例の検討を行った。
- ・ 深沢地域の新しいまちづくり基本計画で定める道路等の整備方針を実現するため、事業区域周辺道路の設計を行うとともに、現状の交通環境を踏まえた道路整備計画(案)を策定した。なお、三菱電機南側道路整備予備設計等委託及び深沢小学校・深沢交差点道路整備予備設計等委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 令和4年度に実施した埋蔵文化財の試掘確認調査において、古墳時代から古代と思われる遺構、遺物が発見されたことから、本調査を行った。
- ・ 新駅詳細設計を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
295,336	250,533	193,000	35,516	22,017
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	深沢地区まちづくり委員会委員報酬	268	0	
8節	技術アドバイザー謝礼	85	24	
9節	会計年度任用職員費用弁償	3	2	
11節	消耗品費	600	589	
	印刷製本費	578	373	
	深沢地域整備事業用地維持修繕料	600	0	
12節	土地一時使用賃貸借契約公正証書作成手数料	0	125	
13節	深沢地域整備事業用地管理委託料	5,000	4,258	
	深沢地区まちづくりガイドライン運用等委託料	11,148	11,143	
	深沢まちづくり特設ホームページ運営委託料	1,000	0	
	事業区域周辺交通検討委託料	4,653	4,642	
	事業区域周辺道路整備計画検討委託料	32,109	32,109	
	三菱電機南側道路整備予備設計等委託料	20,603	4,590	
	(翌年度への繰越明許費)			
	深沢小学校・深沢交差点道路整備予備設計等委託料	19,503	0	
	(翌年度への繰越明許費)			
	事業区域分筆登記等委託料	7,689	6,957	
	埋蔵文化財調査委託料	45,639	41,690	
14節	会場使用料	179	8	
19節	新駅詳細設計監理業務負担金	9,100	2,383	
	新駅詳細設計負担金	136,579	84,107	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正・印刷を行い、活用・販売した。
- ・都市計画業務支援システムを活用し、業務効率化を図った。
- ・最新の都市計画情報を公開型GISシステムとして継続的に公開した。
- ・県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を行い、素案を取りまとめた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,996	18,996	15,538		3,458
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	都市計画審議会委員報酬 12人	528	388	
11節	消耗品費	326	325	
	印刷製本費	1,980	1,252	
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料	671	671	
	都市計画関連データ等修正業務委託料	847	847	
	都市計画情報提供サービス運用委託料	264	264	
	市街化区域及び市街化調整区域の見直し等検討業務委託料	13,860	11,088	
	都市計画業務支援システム用機器Windowsアップデート対応業務委託料	0	214	
14節	都市計画業務支援システム用機器賃借料	385	385	
	説明会用会場使用料	20	0	
18節	都市計画情報窓口閲覧用端末購入費	105	104	
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金	10	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通環境整備事業

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。
- ・パークアンドライド案内看板の維持修繕を行った。
- ・江ノ電鎌倉駅西口改札における沿線住民等優先入場社会実験を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,861	1,861	1,758		103
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			742	726
印刷製本費			462	380
パークアンドライド案内看板維持修繕料			454	449
19節 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金			203	203

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通体系整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの繰越明許費を含めて、短期的観光渋滞対策として「予約制駐車場に係る実証実験」を国土交通省と連携し、実施した。
- ・交通マスタープランの改定及び地域公共交通計画の策定に向け、基礎調査を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,451	42,331	29,019		13,312
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	交通計画検討委員会委員報酬	378	0	
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬	198	0	
8節	交通政策専門員等報償費	68	0	
9節	交通計画検討委員会委員等費用弁償	13	0	
11節	消耗品費	0	444	
	印刷製本費	500	0	
	光熱水費	132	113	
	歩行者尊重道路整備等修繕料	500	0	
12節	電信料	605	581	
	広告料	0	504	
13節	鎌倉市交通計画検討委員会等に係る資料作成等業務委託料	3,256	0	
	短期的観光渋滞対策関連調査業務等委託料	15,499	6,106	
	短期的観光渋滞対策関連調査業務等委託料(前年度からの繰越明許費)	0	15,499	
	鎌倉市交通マスタープラン改定基礎調査業務委託料	9,229	5,610	
14節	会場使用料等	73	21	
18節	備品購入費	0	141	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			22,693

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

新交通システム等整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

【 事業の内容 】

- ・ 交通不便地域等において、新たな交通システムの導入に向けた準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,667	3,667	2,823		844
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	(仮称)鎌倉市地域公共交通会議等委員報酬	196	0	
8節	学識者等謝礼	85	0	
9節	(仮称)鎌倉市地域公共交通会議等委員費用弁償	10	0	
11節	消耗品費	82	78	
	印刷製本費	500	0	
13節	新たな交通システム導入準備業務委託料	2,775	2,745	
14節	会場使用料	19	0	
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			1,583

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

公共交通支援事業

【

都市計画課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 地域経済及び市民生活に不可欠な地域公共交通を担う鉄道事業者に対し、電力の価格上昇により増加した運行費用の一部について、支援を実施することとしていたが、令和5年度は前年度よりも電力料金が減少していたことから交付に至らなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	10,518	0		10,518

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市鉄道事業者電力価格高騰対策補助金

0 0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74	74	70		4
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			17	16
14節 会場使用料			3	0
19節 関東国道協会等負担金			54	54

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業や、国・県が施工する都市計画道路等の事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23	23	23		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費

23

23

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に加入し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70	70	70		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会等負担金

70

70

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【

みどり公園課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給及び花苗の配布を実施した。
- ・ 大船駅東口花壇及び街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,524	40,524	33,561		6,963

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節	街路樹愛護会報償費	1,305	1,235
11節	花(ポット苗)購入費	360	347
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料	1,197	1,197
	街路樹維持管理委託料	37,662	30,782

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち市街地整備課(市街地整備担当)・深沢地域整備課・

都市計画課(交通安全担当を除く)

都市景観部のうち都市景観課・みどり公園課(がけ地対策担当を除く)

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	507,145	451,437
・ 2節 給料 一般職	226,588	199,269
一般職職員 57人		
・ 3節 職員手当等	196,710	179,114
扶養手当	6,953	6,862
地域手当	36,469	32,353
通勤手当	6,640	6,499
超過勤務手当	20,604	20,937
休日給	664	229
管理職手当	9,557	9,557
期末勤勉手当	101,334	91,374
住居手当	10,161	8,132
管理職員特別勤務手当	128	276
児童手当	4,200	2,895
・ 4節 共済費	83,847	73,054
市町村職員共済組合負担金	83,643	72,856
社会保険料	204	0
雇用保険料	0	198

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部のうち市街地整備課・深沢地域整備課・都市計画課

都市景観部都市景観課

都市整備部道路課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		15,375	15,641
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	10,637	11,560
	会計年度事務補助職員 7人		
	都市デザイン専門員 1人		
・ 3節 職員手当等		2,128	2,082
	期末手当		
・ 4節 共済費		1,338	1,542
	市町村職員共済組合負担金	512	497
	社会保険料	688	908
	雇用保険料	138	137
・ 9節 旅費		1,272	457
	費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

- ・ 下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,963,320	2,963,320	2,963,320		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

2,963,320 2,963,320

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 令和6年度からの都市公園指定管理者の選定を行った。
- ・ 公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の創造を図った。
- ・ 都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。
- ・ 鎌倉海浜公園由比ガ浜地区におけるインクルーシブ広場の改修工事について、前年度からの通次繰越分を含めて実施した。
- ・ 夫婦池公園堤体補修設計業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
607,909	673,403	528,663	15,213	129,527
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	都市公園指定管理者選定委員会委員報酬 5人	208	136	
11節	消耗品費	393	338	
	維持修繕料	1,704	457	
	維持修繕料(公園施設長寿命化計画分)	32,958	4,290	
	維持修繕料(緊急修繕随時分)	3,500	3,209	
12節	リサイクル等手数料	120	89	
	ボランティア等保険料	62	56	
13節	都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料	215,557	215,557	
	都市公園(笛田公園)指定管理料	25,050	25,050	
	鎌倉広町緑地指定管理料	27,600	27,600	
	児童遊園等管理委託料	10,703	10,703	
	公園維持管理委託料(公園施設長寿命化計画分)	6,076	6,270	
	公園維持管理委託料(公園施設長寿命化計画前倒分)	111,925	100,612	
	公園施設等緊急整備委託料	20,000	0	
	公園維持管理委託料	9,775	8,560	
	夫婦池公園堤体補修設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
14節	源氏山公園用地賃借料	1,000	1,000	
	児童遊園土地賃借料	12,023	12,023	
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料	5,247	5,247	

	梶原六本松公園土地賃借料	2,456	2,456
	笛田公園野球場コートローラー賃借料	533	532
	鎌倉海浜公園管理事務所賃借料	4,584	3,382
15節	インクルーシブ公園改修工事請負費(継続事業・令和5年度分 前年度からの通次繰越含む)	54,120	91,869
	<u>東勝寺橋ひぐらし公園復旧工事請負費</u>	17,781	0
	<u>斜面地対策工事請負費</u>	6,556	5,757
	<u>鎌倉海浜公園坂ノ下地区レストハウス解体工事請負費</u>	34,947	0
18節	車両購入費	2,917	2,526
19節	<u>鎌倉海浜公園坂ノ下地区駐車場利用料補填金</u>	0	845
	日本公園緑地協会等負担金	100	92
27節	自動車重量税	14	7

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園整備事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・ 山崎・台峯緑地の維持管理等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,352	31,353	30,494		859
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	85	79	
	光熱水費	526	263	
12節	ボランティア活動保険料	10	0	
13節	都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託料	9,630	10,051	
	山崎・台峯緑地管理事務所警備委託料	203	203	
	山崎・台峯緑地(風致公園)管理業務委託料	13,987	13,987	
19節	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金一般財源相当額償還	5,911	5,911	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園用地取得事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・山崎・台峯緑地(都市緑地)用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。
- ・夫婦池公園用地の取得については、地権者都合により取得できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,586	10,497	10,269		228
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	110	94	
	印刷製本費	200	0	
13節	山崎・台峯緑地用地(都市緑地)用地不動産鑑定評価等業務委託料	1,328	315	
	公共嘱託登記業務委託料	1,984	0	
	夫婦池公園用地不動産鑑定評価等業務委託料	1,397	0	
17節	山崎・台峯緑地(都市緑地)用地購入費	10,455	9,860	
	夫婦池公園用地購入費	28,112	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,100
	・地方債			5,500

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅管理運営事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者募集など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,640	158,830	154,043		4,787
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬 5人	104	52	
11節	消耗品費	54	44	
	印刷製本費	37	31	
	市営住宅各種修繕料	11,550	8,173	
	(内訳)			
	ベネッセレ湘南深沢3戸		2,365	
	深沢セントラルハイツ3戸		1,188	
	レーベンスガルテン山崎4戸		3,025	
	ベネッセレ湘南深沢1戸・深沢セントラルハイツ1戸		1,595	
13節	公営住宅管理システム保守点検業務委託料	413	413	
	市営住宅等指定管理料	46,695	46,695	
	市営住宅高所低木等剪定業務委託料	624	0	
	市営深沢第6住宅アスベスト調査委託料	0	2,563	
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料	861	764	
	福祉型借上市営住宅賃借料	93,609	93,609	
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金	2	2	
	市営住宅管理費等負担金	1,690	1,690	
22節	過少収納時補填金	1	0	
23節	過誤納還付金	0	7	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			25,670

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

住宅政策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。
- ・マンション管理の適正化を推進するため、マンション管理適正化推進計画の策定を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
302	302	299		3
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			10	7
13節 居住支援業務委託料			292	292
<主な特定財源>				
・国県支出金				130

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

空き家等対策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・鎌倉市空き家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,285	1,285	1,003		282
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	空き家等対策協議会委員報酬		224	0
11節	消耗品費		66	65
	印刷製本費		335	278
14節	空き家管理システム使用料		660	660

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅集約化事業

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・PFI事業により市営住宅の建替えを進めた。
- ・市営住宅の設計及び建設等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
921,137	1,031,980	1,004,946		27,034
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			40	27
13節 PFI事業業務委託料			897,838	993,281
市営住宅用地測量業務委託料			8,539	8,435
(内訳)				
市営住宅用地測量業務(梶原東住宅)				3,502
市営住宅用地測量業務(梶原住宅)				989
市営住宅用地測量業務(岡本住宅)				3,944
市営住宅集約化事業用地汚泥対応業務委託料			0	3,203
22節 市営住宅入居者移転補償金			14,720	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				446,193
・地方債				551,600

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

都市整備部都市整備総務課(住宅担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	36,732	37,784
・ 2節 給料 一般職	16,836	16,305
一般職職員 5人		
・ 3節 職員手当等	13,629	15,602
扶養手当	498	361
地域手当	2,580	2,500
通勤手当	472	569
超過勤務手当	913	3,275
休日給	44	0
期末勤勉手当	7,450	7,405
住居手当	1,252	1,252
児童手当	420	240
・ 4節 共済費	6,267	5,877
市町村職員共済組合負担金		